

情報伝達訓練を実施！！



9月3日(木)、地震災害発生時の緊急対応について情報伝達訓練を実施しました。この訓練は、北陸地方整備局及び管内の全事務所が、災害発生時の緊急対応について、災害対策室等で机上訓練を実施するものです。

立山砂防事務所では、管内で震度4を記録、山腹崩壊が発生したとの想定で、緊急対応の方法等を確認しました。



対応策の検討



災害対策室の様子

● 訓練想定地震

- ・震源地：秋田県沖、山形県沖及び新潟県沖（3連動時間差）
- ・震源の深さ：0 km ・震源の規模：マグニチュード8.0
- ・最大震度：震度7-新潟県村上市、佐渡市
*立山砂防事務所管内は震度4
- ・津波：山形県、新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登に大津波警報。石川県加賀、福井県に津波警報。

● 土砂災害の発生状況（想定）

- ・常願寺川 鬼ヶ城砂防堰堤上流において山腹崩壊が発生。
- ・崩壊土砂量は45,000m³で規模は長さ約100m、幅約75m、平均厚さ約6m。
- ・川の流れは一部確保されており、湛水は確認されない。

● 立山砂防事務所の対応（想定）

- ・土石流による下流へ被害を与える恐れがあるため、
①関係機関への情報提供 ②土砂堆積箇所での監視 ③緊急対策の検討 を実施。
- ・衛星小型画像転送装置(Ku-SAT)により崩壊斜面及び崩落土砂の監視を実施。
- ・今後の土砂流出による被害の軽減のため、下流の妙寿砂防堰堤のシャッターを閉鎖。



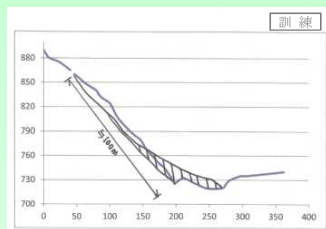
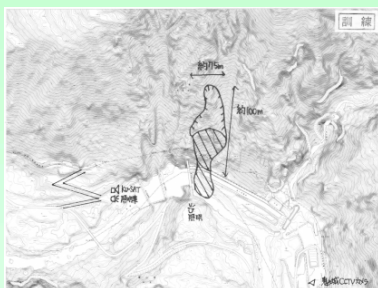
集まった情報を整理



状況をホワイトボードに記入



PCで情報整理



鬼ヶ城砂防堰堤付近での山腹崩壊想定

【反省会で出された主な意見】

- ・臨機にシナリオが変更されたが、適宜柔軟に対応できた。
- ・災害対策室と、水谷出張所・現場出勤職員との情報共有が不足していた。

今回の訓練で明らかになった課題を整理し、緊急時に必要な情報を積極的に集め、より迅速に対応できる体制を整えてまいります



反省会